

日本心理学会若手の会The Early Career Psychologists Committee
of the Japanese Psychological AssociationNEWS
LETTER

Vo.1 No.1 2016

**CONTENTS**

- ・若手の会ニューズレター発刊にあたり
- ・「若手の会」入会方法について
- ・平成28年度事業計画の紹介
- ・若手の会幹事・運営委員の紹介
- ・編集後記

若手の会ニューズレター発刊にあたり
鈴木 華子・小川 健二
(日本心理学会若手の会代表幹事)

この度「日本心理学会 若手の会」が再スタートしました！本年度から「認定心理士の会」が日本心理学会の下部組織として新たに設立されるタイミングに合わせ、「若手の会」も同様に学会の下部組織として再編されることになりました。新しい幹事会には、長谷川寿一理事長を会長にお迎えし、総務担当の安藤清志常務理事、学術担当の佐藤隆夫常務理事にも新たに加わっていただくとともに、これまで企画・運営に関わってきた運営委員の中から10名が参加しています。また、幹事会には参加していない運営委員にも引続き活動に関わってもらうとともに、一般会員にも必要に応じて流動的に運営委員に加わってもらうことで、さらなる会の活性化を目指しています。

若手の会の発足自体は3年ほど前にさかのぼります。日本心理学会は90年近い歴史と約8,000名の会員数を誇る巨大会ですが、意外なことに

それまで若手の会が存在していませんでした。そこで2013年の第77回大会（北海道医療大学）にて鈴木と小川が共同世話人となり、若手の会の発足式を開催しました。式に参加してくれた大学院生から若手PIまでの12名が新たに運営委員として集まり、若手の会が始動しました。その後、多くの先輩や同志に支えられ、若手の会は現在120名を超えるメンバーを抱える組織に成長しています。

会の主な目的は、心理学に関わる若手間のネットワークを構築し、日本心理学会内外との情報交換を行うことです。それにより、若手会員相互の交流促進、研究・教育・応用分野の融合、社会貢献を目指し、若手の育成および将来の心理学の発展に寄与したいと考えています。心理学でも特定分野に関する学会の中には若手の会が既に存在している学会も多くありますが、本会は国内の心理学分野で唯一の総合学会である日本心理学会の特色を活かし、基礎から応用まで幅広い分野が集まることで心理学全体の若手交流の促進を目指しています。

これまでの主な活動として、まず大会時の若手企画があります。過去2年の大会では、若手の会

主催の企画シンポジウムを実施してきました。一昨年の第1回は「若手研究者を取り巻く現状と課題 ～社会とのつながりとキャリア形成のヒント～」、昨年の第2回は「広がる心理学 ～学際性の先端領域と新しいキャリア形成の枠組み～」と題し、特に若手心理学者に関連するテーマについて議論を交わしてきました。さらに大会のお昼休みの時間帯を利用し、お弁当を食べながらのラウンドテーブル・ディスカッションも実施しています。前回はシンポジウム登壇者の先生方にもご参加いただき、距離も近く、カジュアルな雰囲気の中、シンポジウムのテーマに限らず本音を交えた議論が弾みました。

そして、昨年度から新たに合宿形式の研究会も開催しています。「異分野間協働懇話会」と題し、学会の特徴を活かした心理学分野の垣根を超えた若手の交流を目指しています。昨年は初回にも関わらず、学部生から若手PIまで25名の参加者がマホロバ・マインズ三浦（神奈川県三浦市）に集まりました。そして若手へのメッセージを含めた3件の招待講演、ポスター発表からアルコール片手のナイトセッションまで、2日間で密に議論を交わしました。

その他の活動として、若手によるコラムリレー、心理学ワールドの若手の会コーナー、若手の会メーリングリストによる情報発信等も行っています。

来月にはいよいよ国際心理学会議（ICP）が横浜で開催されます。若手の会でも会期中に企画シンポジウム、ソーシャル、ワークショップ等を企画しています（詳しくは本ニューズレター「ICP2016若手企画」のコーナーをご覧ください）。ICPは若手に限らず世界中の著名な心理学者と交流することのできる貴重な機会ですので、ぜひ皆さんの積極的な参加を期待しています。

新しい体制の下で、さらに若手の役に立ち、若手が活躍できる会を目指して活動を続けていきますので、今後とも宜しく願います。参加資格は原則として、大学院修士または博士課程在学中、

もしくはその修了時点から10年以内の日本心理学会会員です。心理学に関わる若手活躍の場として、皆様ぜひご参加ください！



「異分野間協働懇話会」
マホロバ・マインズ三浦
にて（2016年3月）

「若手の会」入会方法について

「若手の会」へ入会ご希望の方は、ips-ecp@psych.or.jpまで、件名を「若手の会入会」とし、以下の情報をお知らせください。

- ・名前
- ・会員番号
- ・所属
- ・職名
- ・メールアドレス（ニューズレターは添付ファイルでお送りいたしますので、お受け取り可能なメールアドレスを記載してください）
- ・電話番号
- ・最終学歴
- ・学位取得年（在学中であれば、課程・年次）

※なお、入会申込はメールのみの受付とさせていただきます。

平成28年度事業計画の紹介

【若手科学者サミット】

日本学術会議の若手アカデミー委員会が若手アカデミーとして改めて発足したことに伴い、若手研究者ネットワークが再編されました。当該ネットワークを活用し、「若手科学者サミット」と題するポスターでの研究発表会が開催されます。本会代表幹事の鈴木と小川が、分野の研究紹介、その後個人の研究紹介を合わせて発表してきます。ネットワークに登録をされている代表者はもちろんのこと、広く若手の会に所属されている多くの若手研究者も参加可能です。

開催日：7月10日（日）15:20 - 16:30（この時間帯の前後に下記＜参考＞のシンポジウム・ワークショップが開催されます）

場所：日本学術会議（東京都港区六本木7丁目22-34）会議室6-C(1)(2)(3)

＜参考＞同時開催予定のシンポジウムの概要
タイトル：「融合を問う：学問の消滅と生成の系譜学から」

1. 主催：若手アカデミー・若手による学問の未来検討分科会
2. 共催：若手アカデミー・若手科学者ネットワーク分科会
3. 日時：平成28年7月10日（日）13:00 - 18:00

5. 場所：日本学術会議講堂

6. 次第：

開会あいさつ 13:00 - 13:10

講演「学問の生成と消滅の系譜：融合する学問としての農業経済学」（仮題）
藤原 辰史（京都大学）13:10 - 13:40

講演「『社会数学』の生成、消滅と部分的再生」（仮題）

隠岐 さや香（名古屋大学）13:40 - 14:10

講演「技術と学問のあいだ：実学化する学問とメタ化する科学」（仮題）

中村 柁樹（大阪大学）14:10 - 14:40

講演「融合の先にあるものとは何か：環境学の現在と百年の計」（仮題）

福永 真弓（東京大学）14:40 - 15:10

パネルディスカッション

「生成と消滅のダイナミズムからみる学問の未来」15:20 - 16:30

シンポジウム付随ワークショップ

「科研費の新体制は学問の場をどう変えるか」16:30 - 18:00

現・内閣府知的財産戦略推進事務局参事官補佐 前澤綾子氏をお招きし、ワークショップを行う。

（鈴木 華子・小川 健二）

【第31回国際心理学会議（ICP2016）若手企画】

1. Social event for students and early career psychologists

日時：Monday, July 25, 18:00 -

場所：Harbor Lounge A

Emerging Psychologists Program と共催でソーシャルを開催できることになりました！！

100人くらいが、ぷらっときて、アペリティフできる程度の飲み物、食べ物を用意しています。ぜひご参加ください！

2. Invited Symposium (YIS-01 General)

日時：Tuesday, July 26, 8:30 - 10:30

場所：Annex Hall F202

タイトル：

Early career psychologists' leadership and initiative in Japan and around the world

（日本と世界における若手心理学者たちのリーダー

ーシップとその取り組み)

概要：

In order to strengthen the ties among Early Career Psychologists (ECPs) committees of psychological associations around the world, this symposium will introduce the initiatives made by each ECP committees and explore the ways they can work together. The aim of the symposium is to increase the awareness of initiatives by ECPs in other parts of the world, to broaden the horizon and motivate one another, and to understand the importance of ECPs getting together. Three speakers from the ECP committee of the psychological associations in Japan (Japanese Psychological Association), the US (American Psychological Association), and Taiwan (Taiwan Psychological Association) will present their initiatives and efforts to enhance their presence in their communities, and discuss the possible roles of ECPs to facilitate the psychological science around the world.

シンポジスト：

Kenji Ogawa, Ph.D.

(Hokkaido University, Japan)

Ayşe Çiftçi, Ph.D.

(Purdue University, USA)

Yee-San Teoh, Ph.D.

(National Taiwan University, Taiwan)

指定討論者：

Hanako Suzuki, Ph.D.

(University of Tsukuba, Japan)

(鈴木 華子・小川 健二)

3. Workshop for students and early career psychologists

日時：Thursday, July 28, 14:30 - 16:00

場所：Harbor Lounge A

タイトル：

Learn from established psychologists: Tips for early career psychologists.

(ベテラン心理学者に学ぶー若手心理学者へのヒントー)

概要：

The Early Career Psychologists of Committee in the Japanese Psychological Association is organizing a workshop for students and early career psychologists. The aim of the workshop is to learn about establishing career and to have opportunities to network with other ECPs from around the world. In the workshop, several established psychologists will serve as a panel and give a small talk. Then, the participants will be divided into small groups and discuss future trajectories as psychologists. We are hoping to see many students and ECPs at the workshop!

招待講演者：

Maria Eduarda Duarte, Ph.D.

(University of Lisbon, Portugal)

Merry Bullock, Ph.D.

(American Psychological Association, USA)

Takao Sato, Ph. D.

(Ritsumeikan University, Japan)

Valérie Cohen-Scali, Ph.D.

(Institut national d'étude du travail et d'orientation professionnelle (Inetop), France)

(川越 敏和・前田 駿太・三浦 佳代子)



ICP2016 は当日参加も可能です！！！！
日本の心理学ワールドの歴史的イベントにぜひ足を運んでください！！！！

【異分野間協働懇話会】

多くの若手の会会員に参加していただきました「異分野間協働懇話会」を来年3月に開催します。昨年度は25名の参加者と19演題のポスター発表が集まり、とても盛会のうちに終了しました。また認知・生理・臨床、3分野の先生方を招待講演にお呼びして、分野をまたぐ異分野間協働の研究と実践についてお話を聞くことができました。1泊2日ではありましたが、若手同士がつながり、新たなアイデアが湧いたと思います。

開催の詳細についてはニューズレターや特設ホームページで随時お知らせいたします。今年度も多くの方々のご参加をお待ちしております。

(佐藤 哲康・久永 聡子)

若手の会幹事・運営委員の紹介

<会長>

長谷川 寿一 (東京大学・日本心理学会理事長)

<代表幹事>

鈴木 華子 (筑波大学)

小川 健二 (北海道大学)

<幹事>

安藤 清志 (東洋大学・日本心理学会総務担当常務理事)

佐藤 隆夫 (立命館大学・日本心理学会学術担当常務理事)

川越 敏和 (島根大学)

黒田 剛士 (静岡大学)

佐藤 哲康 (川村学園女子大学)

高瀬 堅吉 (自治医科大学)

久永 聡子 (熊本大学)

廣瀬 健司 (理化学研究所)

前田 駿太 (早稲田大学)

三浦 佳代子 (富山大学)

<運営委員>

新井 雅 (健康科学大学)

小松 さくら (中央大学)

原邊 祥弘 (帝塚山学院大学)

古川 洋和 (鳴門教育大学)

森口 佑介 (京都大学)

森本 文人 (仁愛大学)

編集後記

今号では、リニューアルした若手の会の概要、そして28年度の事業計画を中心にお知らせしています。国際化、学際化が進む心理学ワールドの中で、日本心理学会若手の会は基礎から応用まで幅広い分野が集まる心理学分野で唯一の総合学会の若手の会として、今後、ますますその重要性が増していくと考えられます。

心理学全体の交流促進の担い手として若手が一丸となる。そして、思いを叶える場としてこの若手の会が、今後ますますアクティブに活動していけたらと思っています。

夏休みを前にして忙しさはピークを迎えています。夏前バテ(?)せずに皆さん頑張ってくださいませ!

(高瀬 堅吉)

発行：若手の会幹事会

〒113-0033 東京都文京区本郷

5-23-13 田村ビル内

公益社団法人日本心理学会事務局

ips-ecp@psych.or.jp

2016年6月27日発行

編集：若手の会幹事会